

第 6 次芦屋町総合振興計画後期基本計画 策定方針

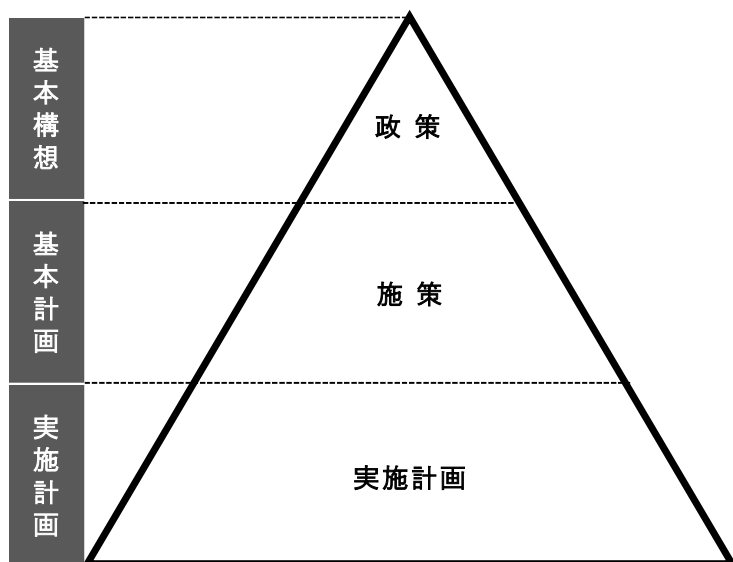
1 計画策定の趣旨

第 6 次芦屋町総合振興計画（以下、「総合振興計画」）は、長期的な展望のもと町の将来像を明確にし、その実現に向けた基本的な考えや方針を総合的、体系的にまとめた町の最上位計画であり、当町の経営方針です。

総合振興計画前期基本計画の計画期間は令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間となります。このため、前期基本計画の評価を踏まえ、令和 6 年度から令和 7 年度にかけて総合振興計画後期基本計画の策定をするものです。

2 計画の構成・期間

(1) 計画構成図



(2) 計画期間

- ① 基本構想：10 年間（令和 3 年度から 12 年度）
- ② 基本計画（前期基本計画・後期基本計画で構成）
 - ア 前期基本計画：5 年間（令和 3 年度から令和 7 年度）
 - イ 後期基本計画：5 年間（令和 8 年度から令和 12 年度）
- ③ 実施計画：3 年間（毎年度ローリング方式で実施）



3 計画の策定体制

総合振興計画後期基本計画の策定は、住民参画のもと全職員が関わり、策定過程を通じて住民と行政との共通認識が図れるよう、次の体制で実施することとします。

(1) 芦屋町議会

必要に応じて議会全員協議会で、適宜報告します。

(2) 芦屋町総合振興計画審議会

芦屋町総合振興計画審議会条例に基づき、後期基本計画に関する事項を当該審議会に諮問し、その答申内容を計画に反映するものとします。

審議会委員については、芦屋町総合振興計画審議会条例の規定に基づき委嘱します。

(3) 住民参画

広く住民の意見や提案を反映させるため、次に掲げる住民等の意見を広く汲み取る機会を設け、住民参画に努めます。

- ① 住民アンケート（コミュニティ活動状況調査）
- ② 団体ヒアリング
- ③ パブリックコメント など

(4) 庁内策定体制

① 政策会議

- ・ 構 成：10 名（町長、副町長、教育長、ボートレース事業局長、課長 6 名で構成）
- ・ 所 掌：総合振興計画後期基本計画（案）の決定、計画案の決定に必要な事項の審議など

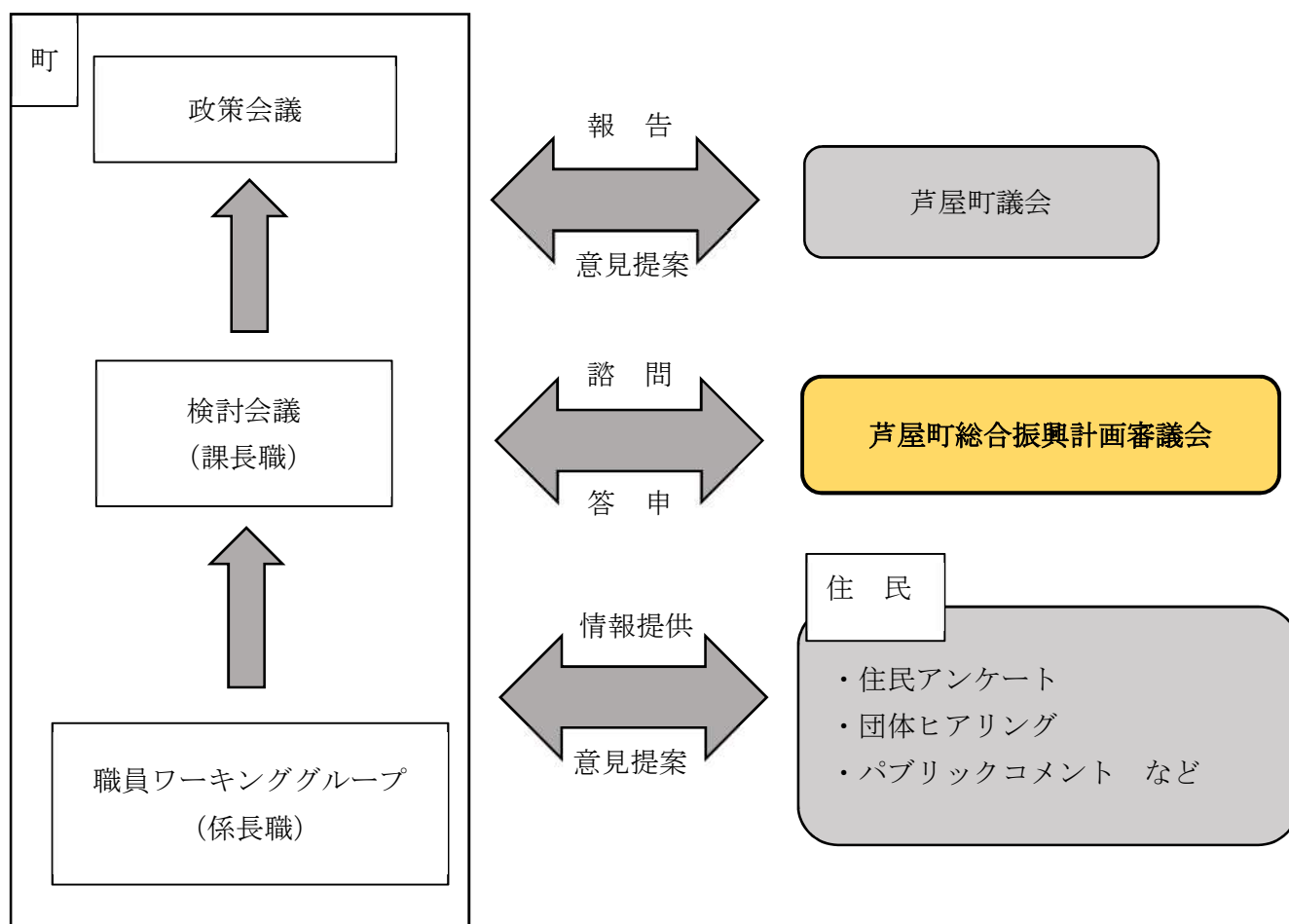
② 検討会議

- ・ 構 成：19 名（全課長職で構成）
- ・ 所 掌：総合振興計画後期基本計画（案）の作成、計画案の作成に必要な事項の審議など

③ 職員ワーキンググループ

- ・ 構 成：34 名（本庁全係長職+ボートレース事業局の庶務係長で構成）
- ・ 所 掌：総合振興計画後期基本計画（案）の作成に必要な基礎資料の収集や分析、計画素案の作成など

〈策定体制図〉



4 策定スケジュール 資料 1-2

総合振興計画後期基本計画は、令和 6 年度から令和 7 年度の 2 ヶ年にわたって策定していきます。

令和 6 年度は、住民アンケート（コミュニティ活動状況調査）の実施を行い、本格的な計画策定は令和 7 年度に行います。